



2025年7月18日

各位

会社名 株式会社メディカルネット  
代表者名 代表取締役会長 CEO 平川 大  
(コード：3645 東証グロース)  
問合せ先 管理本部ゼネラルマネージャー 三宅 大祐  
(TEL. 03-5790-5261)

**2025年5月期の連結業績予想値と実績値との差異及び個別業績の前期実績値との差異、並びに連結決算上の特別利益及び特別損失と個別決算上の特別損失の計上に関するお知らせ**

2024年7月12日に公表いたしました2025年5月期の連結業績予想値及び前期実績と、本日公表の決算値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2025年5月期当社連結決算において特別利益、特別損失及び個別決算において特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 2025年5月期の通期連結業績予想数値と実績値の差異（2024年6月1日～2025年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	6,400	330	305	136	19.95
実績値（B）	6,077	98	134	△68	△7.64
増減額（B－A）	△322	△231	△170	△204	
増減率（％）	△5.0	△70.2	△55.7	－	
（ご参考）前期実績 （2024年5月期）	5,252	298	322	5	0.66

2. 差異が生じた理由

営業利益、経常利益につきましては、人件費の増加と2024年1月に連結子会社化した株式会社ミルテル（以下、「ミルテル」という。）の事業において売上高は330百万円、営業損失66百万円を見込んでおりましたが、計画を大きく下回って損失が拡大したため、予想値を下回りました。また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、ミルテルを連結除外したことにより関係会社株式売却益352百万円の計上がありました。上記に加え、ミルテルが取得した固定資産の減損損失の計上と、2025年3月にミルテルを連結除外したことにより、ミルテルへの貸付金に係る貸倒引当金繰入額の計上などにより予想値を下回りました。

3. 2025年5月期通期個別業績実績値と前期実績値の差異（2024年6月1日～2025年5月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 値（A）	2,078	302	182	81	8.98
当 期 実 績 値（B）	2,051	147	179	△70	△7.87
増 減 額（B－A）	△27	△155	△3	△151	
増 減 率（％）	△1.3	△51.0	△1.6	－	

4. 差異が生じた理由

営業利益につきましては、主に労務費、人件費の増加によるコスト増加により減少いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記に加え、ミルテルに対する金銭債権について個別に回収可能性を検討し、貸倒引当金繰入額 158 百万円の計上と第3四半期まで連結子会社だったミルテルの関係会社株式評価損 60 百万円の計上があったためであります。

5. 特別利益及び特別損失の計上について

(1) 連結決算

①特別利益

連結子会社だったミルテルを連結除外したことにより、関係会社株式売却益 352 百万円を計上しております。

②特別損失（貸倒引当金繰入額、減損損失等）

当社は、第3四半期まで連結子会社だったミルテルに対する金銭債権について、個別に回収可能性を検討し、貸倒引当金繰入額 300 百万円、2025年4月18日付で開示いたしましたとおり、ミルテルが取得した固定資産の減損損失 133 百万円を計上いたしました。2025年3月28日付で有限会社吉見歯科器械店を連結子会社化いたしました。市場環境の変化により当初想定していた収益の獲得が見込めないため、のれんの減損損失 21 百万円を計上いたしました。その他原状回復費用など 7 百万円の合計 462 百万円を 2025年5月期連結決算の特別損失に計上しております。

(2) 個別決算（貸倒引当金繰入額、関係会社株式評価損、固定資産除却損）

(1)と同様に、当社の連結子会社であったミルテルに対する貸付金等にかかる貸倒引当金繰入額 158 百万円と当社が保有していたミルテルの株式に係る関係会社株式評価損 60 百万円、及び固定資産除却損 1 百万円の合計 219 百万円を 2025年5月期の当社の特別損失に計上しております。

以 上